

## Congenital Epidermoid Cyst in the Lingual Apex; Report of a Case

Toshihiro KIKUTA<sup>1)</sup>, Mika SETO<sup>1)</sup>, Hiromasa TAKAHASHI<sup>1)</sup>,  
Ryosuke KITA<sup>1)</sup>, Maiko FUKUDA<sup>1)</sup>, Haruhiko FURUTA<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Faculty of Medicine, Fukuoka University

<sup>2)</sup> Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Hospital Kinki University Faculty of Medicine

### Abstract :

Dermoid and epidermoid cysts are formed if epithelium of the ectodermal tissue has been trapped or has remained in the fused part of each projection during the embryonic period. Epidermoid cysts may be secondarily formed accompanying the aberration of degenerated epithelium arising from trauma, surgical intervention or inflammation. We experienced a case of congenital epidermoid cyst in the center of lingual apex. The epidermoid cyst located in the fissure of the right and left mandibular branchial arch. A summary of this rare case is presented in this paper.

**Key words :** Dermoid cyst, Epidermoid cyst, Lingual apex, Mandibular branchial arch

## 舌尖部の先天性類表皮嚢胞の1例

喜久田利弘<sup>1)</sup>, 瀬戸 美夏<sup>1)</sup>, 高橋 宏昌<sup>1)</sup>,  
喜多 涼介<sup>1)</sup>, 福田麻衣子<sup>1)</sup>, 古田 治彦<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 福岡大学医学部医学科歯科口腔外科学講座

<sup>2)</sup> 近畿大学医学部奈良病院歯科口腔外科

**要旨 :** 類皮嚢胞や類表皮嚢胞は外胚葉組織の迷入や残遺により発生するとされている。類表皮嚢胞は特に後天性に外傷、炎症、手術により上皮または表皮の迷入に由来するとされる。我々は生下時より舌尖中央部に認められた稀な類表皮嚢胞を経験した。同嚢胞は舌尖部の左右下顎鰓弓の癒合部に位置していた。

**キーワード :** 類皮嚢胞, 類表皮嚢胞, 舌尖, 下顎鰓弓

## 緒 言

類皮嚢胞や類表皮嚢胞は外胚葉組織の迷入や残遺により発生し、後天性には外傷、炎症、手術により上皮または表皮の迷入に由来するとされている。口腔領域における先天性の類皮嚢胞や類表皮嚢胞は比較的稀で、特に舌尖部に発生したとの報告は少ない<sup>1)</sup>。

今回、生下時より舌尖中央部に認められた類表皮嚢胞を経験したので、本邦における文献報告症例を加えて報告する。

### 症例

患者：生後10日、男児

初診：2007年7月

主訴：舌尖部に白っぽいできものがある。

既往歴・家族歴：特記事項なし

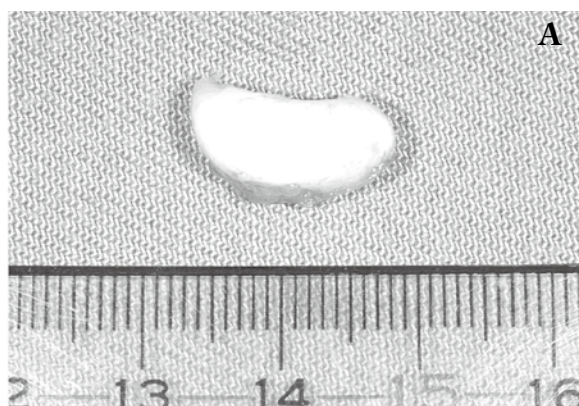
現病歴：2007年6月、近産婦人科医院にて3396gにて出生。出生直後より舌尖部に腫瘤を認め、当院小児科に紹介受診後に精査、加療目的に当科受診となった。

現症：全身的には特記すべき事項はなかった。

口腔内所見：舌尖中央部に直径4mm程度の白色、球状の腫瘤が見られた。触診では、白色部は弾性軟で波動は触知されなかった(写真1)。



写真1 舌尖正中部の白色、球状の腫瘤



臨床診断：舌尖部嚢胞

処置ならびに経過：哺乳障害はないため、両側下顎Aの萌出前に全身麻酔下での摘出術を行うこととし、外来で月に1度の経過観察を行った。

生後3か月時、腫瘤は増大傾向にあり、その形態も楕円形であることが触知できた。

生後4か月時、腫瘤の増大傾向によって哺乳に障害を生ずるようになったため全身麻酔下で摘出術を施行した。摘出物は、薄い被膜に覆われており、内容物は無臭、乳白色のクリーム状であった(写真2, A, B)。

病理組織診断：舌尖部類表皮嚢胞

病理組織所見：摘出物は角化層が肥厚した重層扁平上皮を持つ嚢胞様病変であった(写真3)。嚢胞腔内は、脱落した角化物に満たされていた。嚢胞壁に皮脂腺や毛髪などの皮膚付属器官はなかった(写真4)。

術後経過：現在、術後6年経過しているが、再発所見はなく、経過良好である。

## 考 察

類表皮嚢胞は、嚢胞壁が皮膚様の組織からなる病変で、嚢胞壁に皮膚付属器官を含まないものを言う。好発部位は、肛門部、卵巣部、口腔などの顎顔面領域に好発すると言われている。口腔領域の好発部位は口腔底が多く、舌に発生する症例は稀とされる<sup>1)</sup>。

Meyer<sup>2)</sup>は、類皮嚢胞を①嚢胞壁内に毛髪、脂腺、汗腺などの皮膚付属器官を有する類皮嚢胞、②皮膚付属器官を有さない類表皮嚢胞、③皮膚付属器官の他に、中胚葉成分(骨、筋、血管等)、内胚葉(呼吸器、消化器等)を有する奇形腫様嚢胞の3型に分類している。本症例は皮膚付属器官を有していなかったことから類表皮嚢胞と診断することができる。

今回、我々が渉猟しえた舌に発生した類表皮嚢胞、類皮嚢胞、奇形腫様嚢胞の論文としての報告例は、1974年の高井らの報告から自験例を含め、表1に示す25例<sup>3-24)</sup>であった(表1)。そのうち、先天性と考えられる1歳

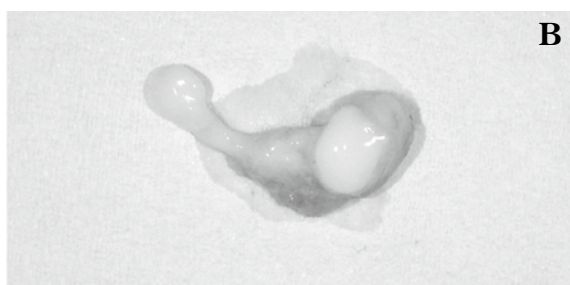


写真2 摘出物

A: 楕円形の被膜に覆われた摘出物

B: 内容物は無臭、乳白色のクリーム状であった。

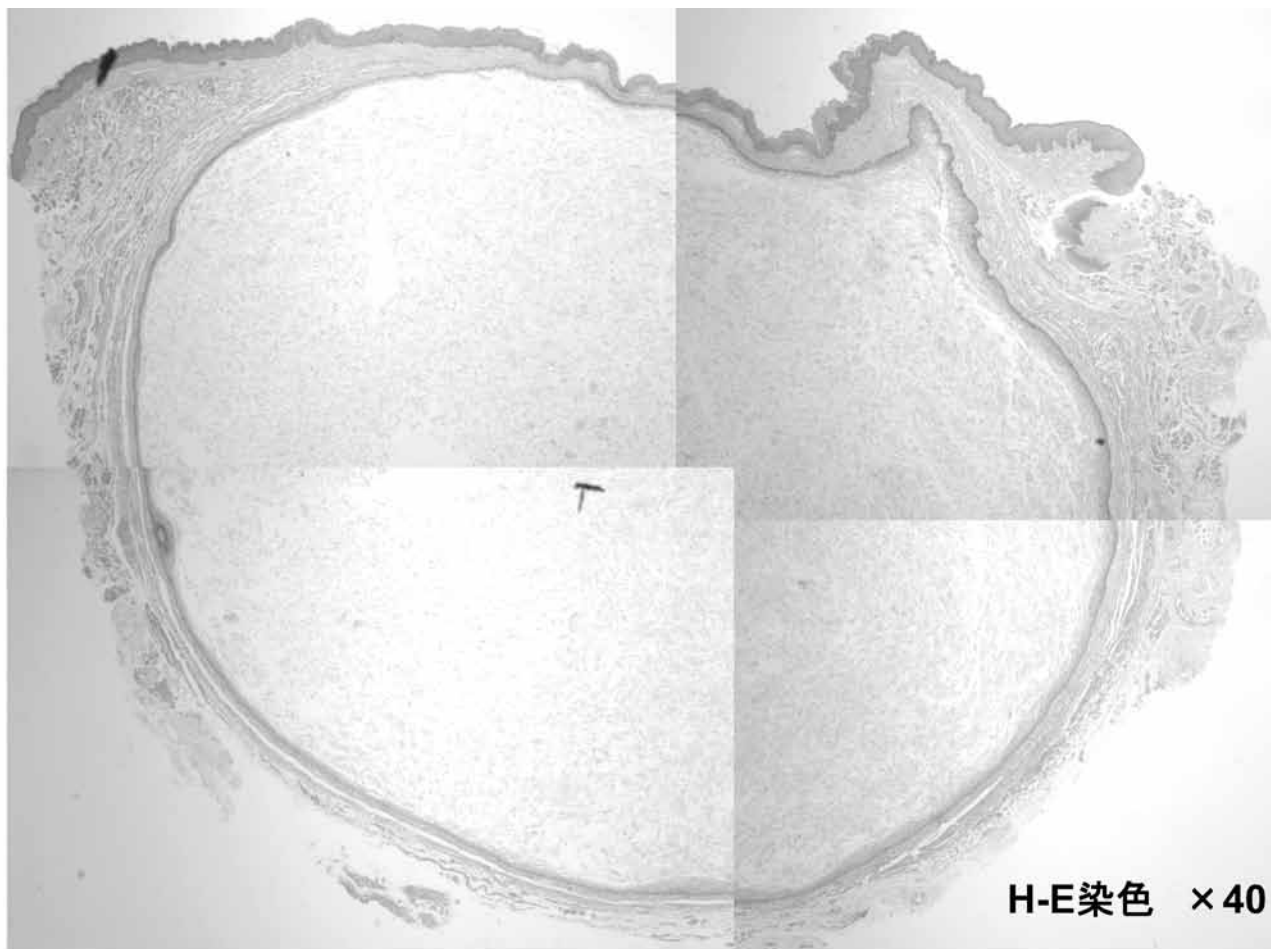


写真3 病理組織像(弱拡)  
角化層が肥厚した重層扁平上皮を持つ嚢胞像が見られる。

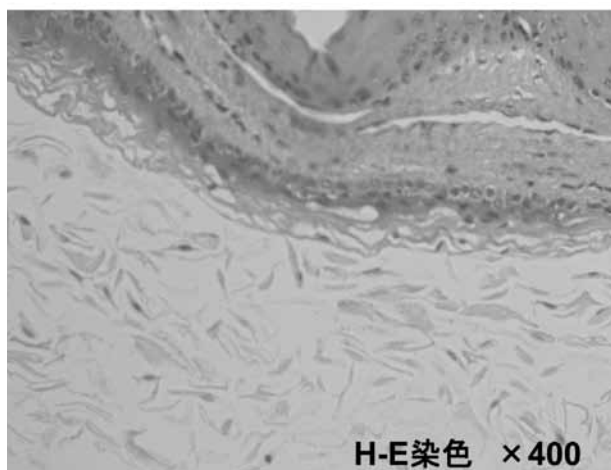


写真4 病理組織像(強拡)  
嚢胞腔内の脱落した角化物が見られる。

未満における類表皮嚢胞の報告例は、自験例を含む4例のみであった。また、舌尖部に発生した報告は、自験例以外に大野ら<sup>4)</sup>の2例のみであった。

症例報告以外に、過去25年間の類表皮嚢胞・類皮嚢胞の臨床統計的観察を行った有村ら<sup>25)</sup>は、発生部位別頻度における舌の発生率は3.3%であったと報告している。また、吉田ら<sup>9)</sup>の統計学的報告でも、本疾患の1歳未満の舌における発生率は5.9%と報告している。舌尖部に発生した先天性の類表皮嚢胞は自験例のみと思われ、非常に稀な症例と考えられた。

原田ら<sup>26)</sup>は、類皮嚢胞は若年層に、類表皮嚢胞は高年齢に比較的多いと報告しているが、舌に発生したものに限ると、今回の表2のように若年層でも類表皮嚢胞発生は多くみられた(表2)。

舌正中に発生する嚢胞は先天性の類皮嚢胞が多く、舌の片側性に発生する嚢胞は、後天性の類表皮嚢胞が多いとする報告もある。本症例は、舌尖中央部に発生しており、発生部位的には左右の突起癒合部と考えられた。

今回の症例は、舌尖正中部の突起癒合部に先天性類表皮嚢胞が発生した稀な症例と考えられた。

表1 本邦における舌に発生した嚢胞の論文報告例

No	報告者	年	性別	年齢	発生部位	病理診断
1	高井ら	1974	F	3	右側舌縁部	類表皮嚢胞
2	大野ら	1979	F	2	舌尖下面	類表皮嚢胞
3	大野ら	1979	F	21	舌尖下面	類表皮嚢胞
4	内山ら	1979	M	30	舌内	類皮嚢胞
5	工藤ら	1980	M	36	左側舌縁部	類表皮嚢胞
6	兼松ら	1983	F	52	舌内	類皮嚢胞
7	三宅ら	1983	F	6	舌下面	類皮嚢胞
8	吉田ら	1984	F	0	舌下面	類皮嚢胞
9	吉成ら	1986	F	58	舌下面	類表皮嚢胞
10	吉成ら	1986	F	52	舌内	類皮嚢胞
11	黒川ら	1987	F	47	舌小帯左側	類表皮嚢胞
12	関ら	1990	M	23	左側舌下面	類表皮嚢胞
13	滝元ら	1990	M	6	舌根部	類皮嚢胞
14	中島ら	1991	M	46	右側舌下面	類表皮嚢胞
15	国芳ら	1993	M	1	舌背中央部	類皮嚢胞
16	迫田ら	1993	M	0	舌下面	類表皮嚢胞
17	佐藤ら	1994	M	46	舌内	類表皮嚢胞
18	岡田ら	1996	F	10	舌内	奇形様嚢胞
19	道脇ら	1997	F	30	舌根部	類表皮嚢胞
20	片桐ら	2006	F	4	舌根部	類表皮嚢胞
21	自験例	2008	M	0	舌尖下面	類表皮嚢胞
22	鈴木ら	2008	M	0	舌背中央部	奇形様嚢胞
23	岩崎ら	2010	M	30	舌根部	類表皮嚢胞
24	黒川ら	2011	F	67	舌内	類表皮嚢胞
25	森ら	2011	M	57	左舌根部	類表皮嚢胞

表2 舌に発生した嚢胞別年齢分布

年齢(歳)	症例数(男/女)	類皮嚢胞	類表皮嚢胞	奇形様嚢胞
0-9	10 (5/5)	4	5	1
10-19	1 (0/1)	0	0	1
20-29	2 (1/1)	0	2	0
30-39	4 (3/1)	1	3	0
40-49	3 (2/1)	0	3	0
50-59	4 (1/3)	2	2	0
60-	1 (0/1)	0	1	0

## 結 語

今回、我々は舌尖部に発生した稀な先天性類表皮嚢胞の1例を経験したので報告した。

## 文 献

- 1) 廻 俊一, 嶋村 寛: 乳児に発症した口底類表皮嚢胞の1例. 日口外誌 35: 2701-2704, 1989.
- 2) Meyer, I: Dermoidcyst (Dermoids) of the floor of mouth. OS OM OP 8: 1149-1164, 1955.
- 3) 高井 宏, 内山博文: 小児の舌に発生した Epidermoid inclusion cyst の1例. 東北歯大歯 1: 50-60, 1974.
- 4) 大野邦博, 曾田忠雄: 口腔領域の類皮嚢胞 50 例の臨床統計ならびに本邦における文献的考察. 日口外誌 25: 842-847, 1979.
- 5) 内山健志, 松井 隆, 他: 蜂窩織炎を併発した舌類皮嚢胞の1例. 歯科学報 79: 601-605, 1979.
- 6) 工藤逸郎, 田中博: 舌に生じた類表皮嚢胞の1例. 日大歯学 54: 7-11, 1980.
- 7) 兼松 登, 吉田幸子, 高橋吾朗, 高田健司, 野口光朗, 前田紘一, 小池正夫, 東 富雄, 小守 昭: 舌に発生した興味ある類表皮嚢胞の1例. 口科誌 32: 600-605, 1983.
- 8) 三宅正彦, 榎本武司, 会田卓久: 類皮嚢胞および類表皮嚢胞の4症例. 日口外誌 29: 2102-2109, 1983.
- 9) 吉田幸子, 兼松登, 吉成美予: 新生児舌下口底部にみられた類皮嚢胞の1例. 日口外誌 30: 75-80, 1984.
- 10) 吉成美予, 吉田幸子: 類皮・類表皮嚢胞 15 例の臨床的観察. 日口外誌 32: 47-53 1986.
- 11) 黒川英雄, 姫田東高, 杉本忠雄: 舌小帯に発現した類表皮嚢胞の1症例. 日口外誌 33: 1655-1660 1987.
- 12) 関 豊, 田川俊郎, 紀平裕之, 中村 宏, 平野吉雄: 舌下面に発生した類表皮嚢胞の1症例ならびに本邦における文献的考察. 日口外誌 36: 654-657 1990.
- 13) 滝元 徹, 吉崎智一, 田中佐一良: 舌根部に生じた dermoid cyst. Auris・Nasus・Larynx 17: 217-219, 1990.
- 14) 中島 健, 喜久田利弘, 藤本誠一: 比較的まれな部位に発現した類表皮嚢胞の3例—成因および文献的考察—. 九州歯会誌 5: 517-524 1991.
- 15) 国芳秀晴, 向井 洋, 杉原一正, 有村健二, 新屋俊明, 山下佐英: 小児の舌に発生した類皮嚢胞の1例とその文献的考察. 小口外誌 3: 89-96 1993.
- 16) 迫田隅男, 鹿島光司, 猪ヶ倉徳孝, 芝 良祐: 舌下部類表皮嚢胞の摘出に応用した正中矢状舌切開法の経験. 小口外誌 3: 97-100, 1993.
- 17) 佐藤 敦, 森士朗: 嚢胞腔内に木片を含んだ舌類表皮嚢胞の一例. 日口外誌 40: 1066-1068, 1994.
- 18) 岡田朋子, 鈴木一郎, 野村 務: 舌に発生した奇形嚢胞型類皮嚢胞の1例. 日口外誌, 42: 311-313, 1996.
- 19) 道脇幸博, 増田小枝子, 大野康亮, 道 健一: 舌根部に発生した類表皮嚢胞の1例. 日口外誌 43: 212-214, 1997.
- 20) 片桐 涉, 千足浩久, 墨 哲郎, 雨河茂樹, 松本憲, 由良義明: 舌根部側方に発生した類表皮嚢胞の1例. 日口外誌 52: 334-337, 2006.
- 21) 鈴木慎太郎, 竹浪嘉江子: 舌背部に瘻孔を形成した舌の奇形腫様嚢胞の1例. 日口外誌 54: 431-36, 2008.
- 22) 岩崎聖子, 小森敦史, 斉藤孝夫: 興味ある MRI 所見を呈した類表皮嚢胞の1例. 同愛医学誌 26: 91-94, 2010.
- 23) 黒川英人, 高畑智文, 中島純子, 羽田朱里, 渡邊伸也, 横江秀隆, 佐藤泰則: 防衛医大誌 36: 247-252, 2011.
- 24) 森 啓輔, 山下佳雄, 壇上 敦, 後藤昌昭: 舌癌の頸部再発が強く疑われた放線菌感染を伴う類表皮嚢胞の1例. 日口腫瘍誌 23: 155-160, 2011.
- 25) 有村健二, 向井 洋: 過去 25 年間の類皮嚢胞および類表皮嚢胞の臨床統計的観察. 日口外誌 38: 1441-1442 1992.
- 26) 原田博史, 栗丸美由紀: 口腔領域における類表皮嚢胞および類皮嚢胞の臨床病理学的検討 日口外誌 41: 878-880 1995.

(平成 25. 7. 3 受付, 平成 25. 10. 10 受理)

